



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社アルファパーチェス 上場取引所 東
コード番号 7115 URL <https://www.alphapurchase.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 兼 CEO (氏名) 多田 雅之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 齋藤 正弘 TEL 03-6628-8453
四半期報告書提出予定日 2024年5月15日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	13,566	10.7	289	△14.9	273	△17.9	192	△18.8
2023年12月期第1四半期	12,258	-	340	-	332	-	236	-

（注）包括利益 2024年12月期第1四半期 192百万円（△18.8％） 2023年12月期第1四半期 236百万円（-％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	19.97	19.53
2023年12月期第1四半期	25.10	24.61

（注）当社は、2022年12月26日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したことに伴い、業績開示は2022年12月期第3四半期から行っているため、2023年12月期第1四半期対前年同四半期増減率を記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	16,819	5,353	31.8
2023年12月期	17,115	5,370	31.4

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 5,353百万円 2023年12月期 5,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	0.00	-	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、通期は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,122	10.0	1,210	1.8	1,200	1.4	854	0.4	88.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	9,631,000株	2023年12月期	9,624,500株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	49株	2023年12月期	49株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	9,628,237株	2023年12月期 1 Q	9,437,567株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

<https://www.alphapurchase.co.jp/ir/>

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年3月31日）における我が国経済は、円安による輸出主導型製造業の業績向上や、インバウンド需要拡大による商業施設やサービス業の好調に支えられ、企業業績は好調に推移しました。しかしながら、当期における個人消費については、賃上げに向けた機運こそ盛り上がったものの、物価上昇率に個人所得の増加が追いつかない状態、すなわち実質賃金の前年比マイナスの状態が継続したことから、盛り上げを欠く展開になりました。

このような状況の下、当社グループのセグメントのひとつであるMRO（Maintenance, Repair & Operations）事業に関する工具、消耗品、安全用品、修繕部品、文房具などの間接材の市場では、自動車関係や半導体関連などの輸出主導型製造業の需要復調は顕著であったものの、素材産業や内需向け産業の需要は前年同期からの大きな伸びはありませんでした。特に、中小事業所向けに至っては、需要低迷とそれに伴う価格競争激化により、売上は前年同期比割れとなった上に、売上高総利益率も前年同期より低下しました。もう一つのセグメントであるFM（Facility Management）事業に関する国内商業施設向けサービス市場では、インバウンド需要拡大を追い風に中大型店舗の改装案件が増加したものの、個人消費の動向に敏感な小規模店舗の改装案件数が減少し、売上構成の変化から、売上は成長した一方で、売上高総利益率の低下によって利益が減少しました。販売費および一般管理費（販管費）については、賃上げに伴う人件費増や、将来の収益獲得に向けたIT投資・経費の増があったことから、売上増に伴う販管費率の効率化はあったものの、販管費額は増加しました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は13,566百万円（前年同期比10.7%増）、営業利益は289百万円（前年同期比14.9%減）、経常利益は273百万円（前年同期比17.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は192百万円（前年同期比18.8%減）となりました。

事業別の状況は次のとおりであります。

間接材購買のためのシステム提供と物品販売を行うMRO（Maintenance, Repair & Operations）事業において、主要顧客である大企業向けの直販経路では、既存顧客による当社システムの利用度増や、前年に当社との取引を開始した顧客による売上の上積みにより、高い成長率を持続することができました。特に、大企業顧客の約7割を占める製造業向けが成長の牽引役となりました。一方、中小事業所向けの販売は、親会社を経由する卸販売形態であり、この経路の顧客の内、製造業のお客様は4分の1未満にとどまります。残りの4分の3以上は、個人消費の動向に敏感な販売・サービス業のお客様が多く、この中小企業向け経路の売上が前年比割れとなりました。特に、前年同四半期までは売れ筋であった新型コロナ対策品などの減は、同販路全体の売上高総利益率にも影響を与え、売上高総利益の対前年減少率は売上高以上となりました。また、費用面では、持続的な事業成長のための積極的なITシステム投資に伴う償却費増と、ITシステム運用のためのクラウド費用等の外部委託費用が増加しており、両者をあわせたITシステム関連の総費用が大きく増加しました。これらの結果、MRO事業の売上高は10,363百万円（前年同期比11.9%増）、セグメント利益は182百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

商業施設向けにサービスの提供を行うFM（Facility Management）事業においては、1件当たりの受注金額が小さい小規模店舗の案件が減少し、1件当たりの受注金額が大きい中大型店舗の新店・改装案件が増加したことで売上は前年同期比増となりました。大型案件の方が資材費の比率が高く、少ない人数で多くの売上を上げることができると、中大型店舗案件は小規模店舗案件に比して、社員1人当たりの売上高が大きく、人員効率面で有利です。ただ、その効率の良さを反映した単価での受注となるため、案件当たりの売上高総利益率は小規模店舗案件より低めとなります。当期は、前年同四半期との比較で、規模の異なる案件の構成比が変化しており、人員効率面で有利な中大型案件が多かったものの、手がかかる一方で粗利率は高い小規模案件が少なく、結果的に、FM事業の売上高は3,193百万円（前年同期比7.4%増）、セグメント利益は93百万円（前年同期比32.5%減）となりました。

その他事業は、当社の子会社であるATC株式会社のソフトウェア事業が中心であり、同社が高度なノウハウを持つMDM（Master Data Management）関連の外販事業の成約案件が減少したことで、売上高（外販売上）は9百万円（前年同期比51.6%減）、セグメント利益は14百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は14,418百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円減少しました。現金及び預金が515百万円、商品が429百万円増加し、売掛金及び契約資産が1,224百万円減少したこと

が主な要因です。固定資産は2,401百万円となり、前連結会計年度末に比べ18百万円減少しました。無形固定資産が43百万円増加し、有形固定資産が6百万円、投資その他の資産が54百万円減少したことが要因です。これらの結果、総資産は、16,819百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円減少しました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は11,416百万円となり、前連結会計年度末に比べ273百万円減少しました。これは買掛金が131百万円増加した一方で、未払消費税等が186百万円、未払法人税等が171百万円、賞与引当金が126百万円減少したことが主な要因です。固定負債は49百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しました。これは長期借入金が4百万円減少したことによるものです。

これらの結果、負債合計は、11,466百万円となり、前連結会計年度末に比べ278百万円減少しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,353百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益192百万円の計上による増加、剰余金の配当211百万円による減少が主な要因です。これらの結果、自己資本比率は31.8%（前連結会計年度末は31.4%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,685百万円となり、前連結会計年度末に比べ515百万円増加しました。なお、当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、924百万円の収入超過（前年同四半期累計期間は1,316百万円の支出超過）となりました。主な収入要因として税金等調整前四半期純利益273百万円、売上債権の減少額1,227百万円、主な支出要因として棚卸資産の増加額409百万円、法人税等の支払額207百万円があったことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、無形固定資産の取得による支出184百万円などにより186百万円の支出超過（前年同四半期累計期間は222百万円の支出超過）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払211百万円などより222百万円の支出超過（前年同四半期累計期間は258百万円の支出超過）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に公表いたしました業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。なお、当該業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,169,591	4,685,526
売掛金	9,527,667	8,158,334
契約資産	80,139	224,657
電子記録債権	52,992	50,455
商品	613,688	1,043,029
仕掛品	4,915	955
貯蔵品	297	789
未成工事支出金	79,231	62,494
その他	167,716	193,104
貸倒引当金	-	△844
流動資産合計	14,696,240	14,418,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	84,656	84,656
減価償却累計額	△48,097	△49,746
建物及び構築物（純額）	36,558	34,909
工具、器具及び備品	268,238	273,932
減価償却累計額	△192,668	△200,006
工具、器具及び備品（純額）	75,569	73,925
建設仮勘定	3,373	-
有形固定資産合計	115,501	108,835
無形固定資産		
ソフトウェア	1,520,877	1,443,392
ソフトウェア仮勘定	361,559	482,136
無形固定資産合計	1,882,437	1,925,529
投資その他の資産		
関係会社株式	4,386	4,386
差入保証金	252,677	252,677
繰延税金資産	159,040	105,418
その他	5,412	4,599
貸倒引当金	△308	△308
投資その他の資産合計	421,209	366,774
固定資産合計	2,419,148	2,401,139
資産合計	17,115,388	16,819,641

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,663,412	10,795,411
1年内返済予定の長期借入金	53,320	44,986
未払金	252,514	271,366
未払法人税等	207,560	36,044
未払消費税等	208,312	22,244
契約負債	34,033	68,796
賞与引当金	156,312	29,745
その他	115,125	148,261
流動負債合計	11,690,592	11,416,855
固定負債		
長期借入金	23,364	18,366
資産除去債務	30,701	30,701
その他	557	557
固定負債合計	54,622	49,624
負債合計	11,745,214	11,466,479
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,806	558,066
資本剰余金	759,527	760,788
利益剰余金	4,053,806	4,034,317
自己株式	△65	△65
株主資本合計	5,370,074	5,353,107
新株予約権	99	55
純資産合計	5,370,174	5,353,162
負債純資産合計	17,115,388	16,819,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	12,258,818	13,566,712
売上原価	11,051,366	12,357,095
売上総利益	1,207,452	1,209,617
販売費及び一般管理費	867,131	919,933
営業利益	340,320	289,684
営業外収益		
受取利息	6	13
その他	426	61
営業外収益合計	433	74
営業外費用		
支払利息	97	44
為替差損	7,655	16,153
その他	85	192
営業外費用合計	7,839	16,389
経常利益	332,914	273,368
税金等調整前四半期純利益	332,914	273,368
法人税、住民税及び事業税	45,371	27,497
法人税等調整額	50,659	53,622
法人税等合計	96,031	81,119
四半期純利益	236,883	192,248
親会社株主に帰属する四半期純利益	236,883	192,248

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）
四半期純利益	236,883	192,248
四半期包括利益	236,883	192,248
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	236,883	192,248

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	332,914	273,368
減価償却費	141,706	151,926
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△767	844
賞与引当金の増減額（△は減少）	△100,795	△126,567
受取利息及び受取配当金	△6	△13
支払利息	97	44
為替差損益（△は益）	△20	△284
売上債権の増減額（△は増加）	183,720	1,227,352
棚卸資産の増減額（△は増加）	△200,246	△409,135
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,608,663	131,999
未払金の増減額（△は減少）	19,196	16,920
未払消費税等の増減額（△は減少）	18,394	△186,068
その他	101,792	51,872
小計	△1,112,675	1,132,259
利息及び配当金の受取額	6	13
利息の支払額	△127	△44
法人税等の支払額	△203,795	△207,562
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,316,592	924,665
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,115	△2,253
無形固定資産の取得による支出	△165,713	△184,153
差入保証金増加による支出	△428	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△222,258	△186,406
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△102,440	△13,332
株式の発行による収入	1,920	2,476
上場関連費用の支出	△16,726	-
配当金の支払額	△141,547	△211,752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,793	△222,607
現金及び現金同等物に係る換算差額	20	284
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,797,624	515,935
現金及び現金同等物の期首残高	3,896,783	4,169,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,099,159	4,685,526

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	9,195,198	2,636,402	11,831,601	4,228	11,835,830	-	11,835,830
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	68,753	338,188	406,941	16,046	422,988	-	422,988
顧客との契約から生じ る収益	9,263,952	2,974,591	12,238,543	20,275	12,258,818	-	12,258,818
外部顧客への売上高	9,263,952	2,974,591	12,238,543	20,275	12,258,818	-	12,258,818
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	54,360	54,360	△54,360	-
計	9,263,952	2,974,591	12,238,543	74,636	12,313,179	△54,360	12,258,818
セグメント利益	182,333	138,094	320,427	19,892	340,320	-	340,320

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア関連業を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	MRO事業	FM事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	10,280,634	2,762,615	13,043,250	41	13,043,291	-	13,043,291
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	82,710	430,927	513,638	9,782	523,420	-	523,420
顧客との契約から生じ る収益	10,363,345	3,193,543	13,556,889	9,823	13,566,712	-	13,566,712
外部顧客への売上高	10,363,345	3,193,543	13,556,889	9,823	13,566,712	-	13,566,712
セグメント間の内部売 上高又は振替高	-	-	-	59,839	59,839	△59,839	-
計	10,363,345	3,193,543	13,556,889	69,663	13,626,552	△59,839	13,566,712
セグメント利益	182,045	93,197	275,242	14,441	289,684	-	289,684

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア関連業を含んでおります。